

晃の園だより

平成25年2月発行



毎年のことではありますが、過ぎてみればあっという間の年末年始でした。壁の真新しいカレンダーも既に1枚分だけ軽くなり、外では梅の花も咲き始めていたりします。節分も終わり、暦の上でも立春を迎えました。季節はとどまることなく回り続けます。そして私たちの生活もまた休むことなく歩み続けます。

今年も『晃の園だより』では、素敵な写真と共に、園での生活の様子を皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。そして素敵な写真に必要なもの、例えば入居者様のくつろいだ表情や共に生活する職員の充実した表情など…それらが数多く見られるような、そんな環境創りをも目指していきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

ショートステイの 写真館



晃の園ショートステイでの利用者様の生活の様子です。大好きな新聞をゆっくりと読んでみたり、手慣れた家事を手伝っていただいたりと、それぞれのペースでお過ごしいただいています。男性の利用者様の中には、普段と違った場所での意外な出会いなどから会話が弾む方もいらっしゃいます。



ホームページが新しくなりました。

New

晃の園のホームページが新しくなりました。ユニットから直接最新的话题を提供する掲示板『旬の話題』や、園だよりのバックナンバーが全て閲覧できるページなど、今までの発信内容はそのまま、より見やすくそしてアクセスしやすくなりました。

見た目もぐんとお洒落になり、晃の園自慢の写真による情報発信の魅力がより活かされた構成となっています。

トップページで表示される画像や、過去の園だよりでその姿が見られる方々の中には、すでに園で生活をされていない方もいらっしゃいます。けれどもたとえ過去のことでも忘れたくない情景があります。そしてそんな風に積み重ねたこれまでの生活の延長線上に、今の生活が続いています。これまで晃の園で生活をされた方々の思い出と一緒に、今のそしてこれからの晃の園の生活を続けていきたいと思ひます。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページの掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。またホームページでは、過去の園だよりも御覧いただくことができます。表示の拡大にも対応しておりますので、是非ご利用ください。



お問い合わせは
☎ 054-270-1210
FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ
ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>
Eメール hikarinosono@surugakai.net



平成24年の暮れ。あちこちで忘年会やクリスマス会などのイベントが行われ、賑わいを見せていました。カレンダーの日付が残り少なくなるにつれて、今年一年を振り返って想いを馳せる気持ちが自然と深まります。今年も一年色々ありました。そして今年も一年色々とお世話になりました。

晃の園のゆく年くる年

平成25年のお正月。新しい一年が動き始めました。例え同じ毎日の生活でも、新たな気持ちを胸に動きだす新年は、それだけで新たな可能性を感じさせてくれるから不思議です。この新しい可能性を、さてこれからどんな風に育てていきましょうか。



南南東に祈りを込めて

節分に手造り恵方巻きと山菜稲荷

節分の日に恵方巻きと山菜稲荷作りを皆さんに楽しんでいただきました。

おひつに用意した酢飯をうちわで煽って冷まします。巻きすに海苔と酢飯と色んな具材をのせて巻いて巻いて…さあ恵方巻きの完成です。



沢山出来上がった恵方巻きと山菜稲荷は、お昼に皆で美味しく頂きました。それにしても皆さんの手際の良さと言ったら…。若手の職員たちは感心することしきりでした。

福祉用具の導入から一年半

振り返り整理して発表、そして次へと続ける

先行してリフトの導入を済ませたモデルユニットの職員たちは、あとに続くユニットへ向けてこれまで様々なノウハウを伝えてきました。そして今回、職員たちの持つ経験やノウハウを広く施設の外にも発信すべく、社会福祉研究会という場で発表を行いました。

情報の発信が目的ではありますが、これまでの経緯を振り返り、自分たちの考えたことや実践してきたことを今一度振り返ることになる発表資料の作成作業自体が、職員たちにとっては大きな意味を持ったと思います。

介護サービスの安定した継続提供のための要となる福祉用具の導入。今回の発表の機会をひとつの区切りとし、そして今回まとめたことを今後活かして、これからもさらに先へと歩み続けていきます。



普段の生活の中で

特別なイベントでない普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそがとても大事なものに思えます。



紅ユニットで炬燵を始めました。畳の部屋に雰囲気もぴったりでお茶に食事にあれこれと…たちまち皆さんのお気に入りの場所になったようです。テレビのないこの空間に、楽しそうな話声が響きます。



ぷらっと遊びに来られた入居者様とさえずりユニットの入居者様で将棋の勝負が始まりました。「う～ん…」「ちょっと待って！」私は将棋については素人ですが、楽しそうな雰囲気はよくわかりました。



年の瀬の中庭で、管理人さんたちが花壇を整備してくれました。職員さんと管理人さんが用意してくれた草花が花壇に綺麗に並びます。

様子を見に来た入居者様との会話も弾んでいました。